



赤い羽根
福祉基金

高校生のがんや入院、
長期療養のこと
知ってみませんか？

東北会場 *In* 福島

病気療養中の高校生を応援する 支え合い井戸端セミナー

あなたにも
できることが
きっとある

子どもと大人の狭間で、支援の隙間にいる病気療養中の高校生がいることを知っていますか？

まずは知ってもらうこと。そこから支援は始まります。

今、病気と闘っている高校生はもちろん、あなたの近くにいるあの子が、今後、もしかしたら支援を必要とするかもしれません。

そんな、高校生への支援を考えるセミナーです。



開催日時
2026 **2/7** Saturday **土** セミナー時間
13:30～16:30

会場
福島県観光物産交流協会 コラッセふくしま
(〒960-8031 福島県福島市三河町 1-20)

参加
無料!!

→ 申込はこちら →

現地



先着
100名

※満席時は立見にてご参加可

※オンライン参加はありません

※会場内で飲食店・展示・紹介コーナーのイベントも同時開催



14:00～ 第1部 まずは知ろう

看護専門学校学生・闘病経験者 國分 龍之介

当事者による体験紹介

自分の経験から伝えたいこと
～目標に向かって～

福島県立須賀川支援学校医大校
センターきらら・高校生支援担当 教諭 桑原 綾子

医大校における支援の事例紹介

高等学校段階の入院生徒への支援の実際

未来 ISSEY：吉田 ゆかり

友だち・学び・希望

ー 高校生の今を支える大切なことー

公益財団法人がんの子どもを守る会
宮城支部代表幹事・副代表幹事
家族会「やんずの会」代表 葦名俊宏
葦名淳子

当事者保護者による体験紹介

質疑応答

15:10～ 第2部 福島への取り組み

がんの子どもを守る会福島支部

当事者会の取り組み

がんの子どもを守る会福島支部の紹介

質疑応答

福島県立医科大学附属病院
小児・AYA がん長期支援センター 菊田 敦
特任教授

医療者の取り組み

長期闘病中の高校生の
教育支援、立ち上げ、現状、課題

認定特定非営利活動法人
パンダハウスを育てる会 副理事長
古溝陽子

支援団体の取り組み

パンダハウスを育てる会 活動紹介
～みんなで力を合わせて～

・ 飲食・展示・紹介コーナー ・

13:30～16:30

白から咲く花ワークショップ



簡単！

可愛い！

白いクレップペーパーに、
自由に絵の具で色を重ね、お花の形
に仕上げるワークショップです。
言葉にするのがむずかしい気持ちや、
言葉だけでは伝えきれない想いを、
色を通して表現していきます。



レモネードスタンド



フスフード帽子

- レモネードスタンド 有志一同
- 健康ウェルネスブース
- がんの子どもを守る会 福島支部
- リレーフォーライフジャパン福島
- ワークショップ グッドブラザー＆東北大学学生ボランティア
- 非営利団体 小児がんの子どもたちを支援する会 そうたの部屋
- パンダハウスを育てる会
・ ミニバザー・スヌード帽の紹介

気軽に
来てね！

「病気で悩む高校生へー支えたい仲間が、ここにいる」

応援団長メッセージ



認定特定非営利活動法人
パンダハウスを育てる会理事長 山本佳子
私たちは、病と闘う・病と生きるこど
もと家族と共にありたいと活動してい
るファミリーハウスです。この度、未
来 ISSEY 様の理念と本セミナーの意義
に共感し、応援団を努めさせていただ
くことになりました。闘病中の高校生
の学びについて皆さまと共有する機
会をいただけたこと、光栄に存じます。
多くの方にセミナーにご参加いただき
たく、何卒お願い申し上げます。

応援団長メッセージ



そしきのコーチ株式会社 代表取締役 小松由
大学時代、当事者のきょうだい支援に関
わった経験があります。その時に感じた
想いが、今また小児がんに向き合う高
校生たちの活動を応援する原点になりま
した。まず第一歩は「知ってもらうこと」
社会の理解を広げる力になりたいと地域
の経営者仲間にも声掛けしています。東
北・福島から一緒に支援の輪を大きくし
ていきましょう！

主催者メッセージ



NPO 法人 未来 ISSEY 代表理事 吉田ゆかり
私の息子は、小学生のときに横紋筋肉
腫という小児がんを経験しました。そ
の経験を通して、学ぶことを続けられ
なかった高校生たちにも出会いました。
「学びたい」という思いは、治療後の自
分の未来を信じているからこそ生まれ
ます。知っていれば守れること、行動
できることがたくさんあります。どう
か、応援をよろしくお願いいたします。